

馬産地ライター村本浩平の 2022 スタリオンシリーズ競走種牡馬名鑑

Vol. 1 | 4.13[水] ▶ 6.23[木] 開催分



4.21
[木]

ゴールドシップ賞

【コスモバルク記念(H2)】

ゴールドシップは現役時に28戦13勝。主なタイトルにはGI皐月賞、GI菊花賞、GI有馬記念、GI宝塚記念(2回)、GI天皇賞・春があります。2016年シーズンから新冠・ビッグレッドファームで繋養。次の年に誕生した初年度産駒の中からブラックホールがGⅢ札幌2歳Sを勝利し、父に初の重賞タイトルを授けます。また、昨年はユーバーレーベンがGIオークスを制して、産駒初のGI制覇を果たしただけでなく、ウインキートスがGⅡ目黒記念を優勝。現役時の父を彷彿とさせる芝中長距離での活躍や、こちらも父譲りと言える成長力の高さを証明してみせました。

4.28
[木]

フィエールマン賞

【北斗盃(H2)】

フィエールマンは現役時に12戦5勝。主なタイトルにはGI菊花賞、GI天皇賞・春(2回)があります。2021年シーズン日高・ブリーダーズ・スタリオン・ステーションで繋養。ディープインパクト産駒の最強ステイヤーとして名を馳せた一方で、天皇賞・秋では2着となったように、芝中距離に適したスピード能力の高さも証明しました。父の後継種牡馬は産駒にマイル～中距離適正の高さを伝える傾向にありますが、豊富なスタミナに加えて、現役時に掲示板を外したのは凱旋門賞だけという安定感を武器に、産駒はクラシックディスタンスを中心とした活躍が期待できそうです。

5.4
[水・祝]

ベンバトル賞

【エトワール賞(H3)】

新種牡馬

ベンバトルは現役時に25戦11勝。主なタイトルにはGIMRCコールフィールドS、GIドバイターフ、GIダルマイヤー大賞典があります。2022年シーズンから新冠・ビッグレッドファームで繋養。父Dubawiは世界的な名種牡馬で、本年度の種付け料は欧州で繋養される種牡馬の中では最高額となる25万ポンドに設定されています。自身初のGIタイトルとなったドバイターフでは、ヴィブロス、リアルスティール、ディアドラと日本国内における芝のトップホースを退けて優勝。産駒も父譲りと言える芝適性の高さに加え、日本の速い馬場における対応力も感じさせます。

5.19
[木]

マジェスティックウォリアー賞

【ヒダカソウカップ(H2)】

マジェスティックウォリアーは現役時に7戦2勝。主なタイトルにはGIホープフルSがあります。2016年シーズンから浦河・イーストスタッドで繋養。今年で17歳。先に繋養されていたアメリカでのキャリアを含めると、13シーズン目というベテラン種牡馬らしく、世界各国でグレードレースの優勝馬を送り出してきました。輸入馬でもベストウォーリアがJpnⅢ南部杯を連覇するなど、産駒はダートで活躍を続け、日本で誕生した産駒の中からは、スマッシャーがGⅢユニコーンS、サンライズホープがGⅢシリウスSを優勝。晩年の最高傑作と言える産駒の誕生も待たれます。

6.16
[木]

ルヴァンスレーヴ賞

【北海優駿(ダービー)(H1)】

ルヴァンスレーヴは現役時に10戦7勝。主なタイトルにはGIチャンピオンズC、JpnⅢ全日本2歳優駿、JpnⅢジャパントダービー、JpnⅢ南部杯があります。父シンボリクリスエスは芝、ダートの双方で優れた産駒を送り出しただけでなく、近年は後継種牡馬たちの活躍も目立っています。その中でも現役時の圧倒的なパフォーマンス、母系にチュウワウイザードの名前もある血統背景と、後継種牡馬のダート部門を一手に引き受ける存在と言えるでしょう。近年の生産界におけるダートサイアーへの評価の高さもあって、繋養初年度は223頭もの繁殖牝馬を集めてみせました。

6.23
[木]

マインドユアビスケッツ賞

【赤レンガ記念(H2)】

初年度
産駒
デビュー

マインドユアビスケッツは現役時に25戦8勝。主なタイトルにはGIドバイゴールデンシャヒーン(2回)、GIマリブSがあります。そのドバイゴールデンシャヒーンではレコードタイムも樹立するなど、現役時はダートのスプリンターとして名を馳せながらも、古馬となってからはマイル以降の距離でも好走を見せた距離適性の幅は、今年デビューする初年度産駒にも伝えられているはずです。その初年度産駒たちは、父譲りと言える筋肉質の好馬体をしているだけでなく、スピード感溢れる動きも見せており、芝、ダートを問わない活躍で、2歳戦を沸かせてくれそうです。

今シーズンは
特別競走14レースも
「スタリオンシリーズ競走」
として開催!

- 門別1回・フリオーン賞・マテラスカイ賞 新種牡馬
- 門別2回・ディスクリートキャット賞
- 門別3回・インディチャンプ賞 新種牡馬
- 門別4回・タリスマニック賞 初年度産駒デビュー
- 門別5回・ホークビル賞
- アドマイヤムーン賞
- イスラボニータ賞

「スタリオンシリーズ競走」は、一般社団法人JBC協会(ジャパンブリーダーズカップ協会)が産地の支援を得て、優勝馬の馬主や生産牧場に種牡馬の翌年種付権利を副賞として贈呈する競走です。
※生産牧場が海外の場合は付与対象外となります。

